

製品名: cAMP タンパク質キナーゼ触媒サブユニットウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00544**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 40 kDa; Observed MW: 40 kDa

抗原情報

遺伝子名	PRKACA/PRKACB
別名	PRKACA; PKACA; cAMP-dependent protein kinase catalytic subunit alpha; PKA C-alpha; PRKACB; cAMP-dependent protein kinase catalytic subunit beta; PKA C-beta
遺伝子 ID	5566/5567/5568
SwissProt ID	P17612/P22694/P22612
免疫原	抗血清はヒト PKA アルファ/ベータ CAT 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 166-215

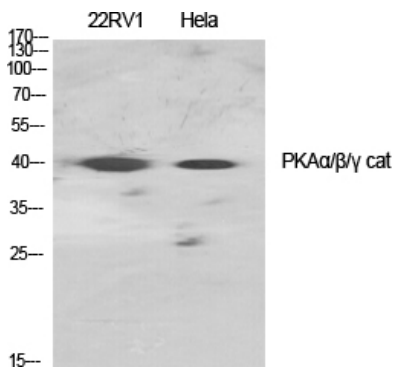
背景

PRKACA (プロテインキナーゼ cAMP 活性化触媒サブユニット α) は、プロテインキナーゼ A の触媒サブユニットの1つをコードします。この酵素は、不活性状態では、2つの調節サブユニットと2つの触媒サブユニットからなる四量体ホロ酵素として存在します。cAMPは、不活性型ホロ酵素を4つのcAMPと2つの遊離単量体触媒サブユニットに結合した調節サブユニットの二量体へと解離させます。ヒトでは、4つの異なる調節サブユニットと3つの触媒サブユニットが同定されています。プロテインキナーゼAによるcAMP依存性タンパク質リン酸化は、分化、増殖、アポトーシスなど、多くの細胞プロセスにとって重要です。この遺伝子の恒常的活性化は、体細胞変異、またはこの遺伝子を含む領域のゲノム重複によって引き起こされ、副腎皮質の過形成および腺腫と関連しており、副腎皮質刺激ホルモン非依存性クッシング症候群にも関連付けられています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。N末端が異なる組織特異的なアイソフォームが報告されており、これらのアイソフォームは、一部のアイソフォームのN末端で起こる翻訳後修飾が異なる可能性があります。

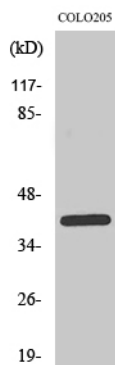
研究分野

シグナル伝達

画像データ



cAMP タンパク質キナーゼ触媒サブユニット抗体を使用した、さまざまな溶解物中の cAMP タンパク質キナーゼ触媒サブユニットのウェスタンブロット分析。



PKA $\alpha/\beta/\gamma$ 猫抗体を使用した COLO205 溶解物中の cAMP タンパク質キナーゼ触媒サブユニットのウェスタンブロット分析。